

秋風に揺れる白銀のさざ波

～岩湧山頂の花ススキが見ごろに～

河内長野市の南部にある岩湧山（標高 897.7m）山頂付近では、ススキの穂が白く色づき始め、ハイカーなど訪れる人に秋の深まりを告げている。

同山の山頂周辺は、全国に残る数少ない茅場（かやば）の一つで、約 7ヘクタールのススキが生える茅場が広がる。眼下には大阪平野、関西空港、遠くは淡路島までが望めるなど眺望が優れ、四季を通じて多くのハイカーが訪れる。初秋になるとススキの穂先に小さな花を咲かせ、山頂を通る風に穂がなびく様は「新河内長野八景」の一つにも挙げられている。また、このススキは「メンガヤ」で、細く柔軟性に富み、カヤ葺屋根の材料に優れているため、文化財などの修理用として使用されている。今年は、11月中旬まで銀色に輝くススキを鑑賞することができる模様。

同山へは、南海高野線・近鉄長野線「河内長野駅」から南海バスで「神納（この）バス停」下車。登山口のある森林公園「岩湧の森」まで徒歩で約 1 時間半。登山口から山頂までは 1～1 時間半。また、「河内長野駅」から日野・滝畑コミュニティバスで「滝畑ダム」下車。湖畔観光レストラン付近の登山口から徒歩約 2 時間。他にも南海高野線「紀見峠駅」からも登山コースがあり、徒歩約 3 時間となっている。

問い合わせ 岩湧の森四季彩館（☎0721-63-5986、月曜日は休館）



※都市魅力戦略課では、本日、10月30日にススキの写真撮影をしています。

写真提供を希望される場合は、都市魅力戦略課（☎53-1111、内線 413 または 415）へご連絡いただきますようお願いいたします。